2026 年 11月20日
株式会社エクスモーション

News Release

当社代表が策定を主導した『JASA レポート 2026』公開のお知らせ

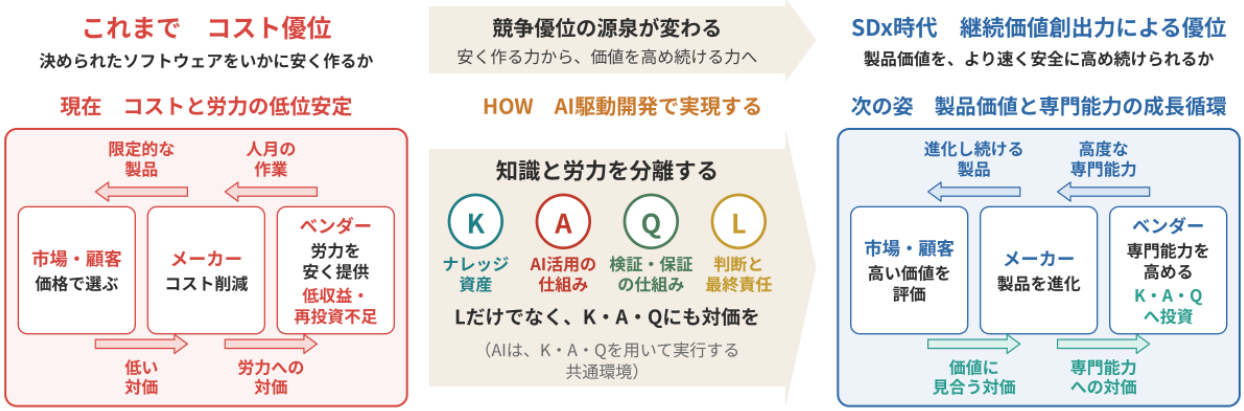
株式会社エクスモーション（本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡辺博之、証券コード：4394、東証グロース）は、当社代表取締役社長の渡辺博之が副会長および JASA 改革プロジェクトリーダーを務める一般社団法人組込みシステム技術協会（JASA）が、『JASA レポート 2026』を公開したことをお知らせいたします。渡辺は、本レポートの企画、執筆および取りまとめを主導しました。

JASA レポート：https://www.jasa.or.jp/lists/jasaplan2026/

■ 業界全体に求められる変革

組込みソフトウェア産業は、製品の価値が出荷後もソフトウェア更新によって高まり続ける SDx（Software-Defined Everything）や SDV（Software-Defined Vehicle）、AI 駆動開発の進展という大きな構造変化の中にあります。本レポートでは、競争軸が「決められたソフトウェアをいかに安く作るか」から「製品価値をより速く、安全に高め続けられるか」へ変わると指摘しています。

その上で、技術者の人数と期間に対価を置く従来の人月ビジネスだけでは、AI による生産性向上を企業の成長へつなげにくいとして、ナレッジ、AI 活用、検証・保証の仕組みを組織資産として蓄積し、価値に応じて対価を得る事業構造への転換を提言しています。



出展：JASA レポート 2026

■ 本レポートと当社の成長戦略

当社は、組込みソフトウェア開発の上流工程で蓄積した要求定義、設計、品質保証等の知見を、AI が繰り返し利用できるナレッジ、エージェント、検証の仕組みとして資産化し、CoBrain をはじめとするサービスへ展開しています。これにより、人的稼働量だけに依存せず、より多くのお客様へ継続的に価値を提供できる事業構造と、ストック型収益への転換を進めています。

本レポートが示す「工数ではなく、知見や価値に対価が支払われるビジネスへの転換」は、当社が進めてきた戦略を、組込みソフトウェア産業全体の構造変化と成長機会の中に位置づけるものです。当社は、コンサルティング事業で培った専門知識と AI 活用能力を組み合わせ、顧客企業の製品価値を継続的に高めるサービスの拡充を進めてまいります。

■ 業界変革への貢献

本レポートでは、取引慣行や役割分担を含む業界の仕組みを変えていくために、企業同士が学び、試し、共有することが重要であるとし、JASA をそのための共創基盤と位置づけています。

当社は、自社での実践を通じて蓄積した知見を JASA の活動で共有し、AI 駆動開発に適した取引、評価、品質保証の共通ルールづくりに貢献してまいります。こうした市場環境の整備は、知見や専門能力に対価が支払われる市場の拡大につながり、当社の事業機会の拡大にも資するものと考えています。

■ 株式会社エクスモーションについて

エクスモーションは、お客様の「技術参謀」として、組込みソフトウェア開発における要求定義、設計、品質保証等の上流工程を支援するコンサルティング会社です。コンサルティングで培った知見と生成 AI を組み合わせ、開発の品質・生産性向上と継続的な製品価値の創出を支援しています。

＜本件に関するお問合せ＞
経営企画室
corporate@exmotion.co.jp